

## G7札幌 気候・エネルギー・環境大臣会合を終えて

G7札幌 気候・エネルギー・環境  
大臣会合実行委員会 会長  
札幌市長 秋元 克広



G7札幌 気候・エネルギー・環境大臣会合では、G7各国や招待国、国際機関など多くの関係者のご参加のもと、有意義な議論が交わされるとともに、歓迎行事等を通して心を通わせた交流が行われました。会合の円滑な運営はもとより、各国・機関の信頼関係の構築に大いに寄与できましたことは、開催地にとって何よりの喜びです。

多大なご支援をいただきました政府関係者の皆さまをはじめ、当実行委員会の構成員、ご協賛いただいた各企業・団体、そして円滑な会合開催にご理解、ご協力を賜りました道民・市民の皆さまに対して深く感謝を申し上げます。

会合に向けては、世界に誇れる環境都市を目指しSDGsの達成や2050年のカーボンニュートラルに向けて意欲的に進めている本市の環境施策、そして、開催地としての様々な魅力も知っていただけるよう、経済・観光団体、行政機関等による実行委員会を設立し、官民が一体となって、機運醸成、おもてなし事業を展開するなど、万全の体制で各国代表団を迎え入れました。

会合開催前日の4月14日に実行委員会が主催した歓迎レセプションでは、道産の質の高い食材を使用した料理やお酒をご提供したほか、北海道から世界へ向けたメッセージの発信、地元の演者による趣向を凝らしたアトラクションを披露しました。

また、会合当日に開催した環境広場ほっかいどう2023には、多くの方にご来場いただき、道民・市民の皆さまに気候変動等の環境問題への理解・関心を深めていただくきっかけを作ることができました。

今回の会合を通じて、北海道・札幌のすばらしさに触れた各国・機関の代表団の方々に大変感動いただき、国際会議の舞台としてふさわしい地であることをアピールできたことは、道民・市民にとってかけがえのない財産です。

オール北海道で取り組んだこの度の成果とノウハウを未来へと継承し、国際的に魅力ある都市の実現、地域の活性化、脱炭素に向けた動きを加速させてまいります。

## G7札幌 気候・エネルギー・環境大臣会合を終えて

G7札幌 気候・エネルギー・環境  
大臣会合実行委員会 顧問  
北海道知事 鈴木 直道



4月15日及び16日に札幌市において開催されたG7札幌 気候・エネルギー・環境大臣会合は、皆様のご協力のもと無事に閉幕いたしました。

世界から注目を集めた本会合が、我が国でも随一の再生可能エネルギーのポテンシャルを有しゼロカーボン北海道の実現を目指す本道において開催され、経済・社会や産業構造をグリーンエネルギー中心に転換するための議論が行われたことは、大変意義深いものであったと考えています。

本会合の開催へ向けては、その機運を全道へ大きく広げるため、G7ゼロカーボンミーティングを層雲峡や洞爺湖において行うとともに、G7ジュニア環境カフェや179市町村の脱炭素化への意気込みなどをつなぐリレーメッセージプロジェクト等を実施してきました。

また、地元主催レセプションやエキスカーションなどの機会を通じ、会合関係者に対し豊かな大地と海で育まれた本道の食を堪能していただくとともに、アイヌや縄文文化をはじめとした多彩な魅力を広く世界に発信することができました。

加えて、本会合の開催に合わせて、脱炭素を通じたエネルギーの地産地消や道内経済の活性化、日本及び世界の脱炭素化に貢献する決意を「北海道・札幌宣言」として秋元札幌市長とともに発表したところであり、この宣言の発出を契機として、ゼロカーボン北海道の取組をさらに加速し、環境と経済の好循環を創り出していきたいと考えています。

終わりに、経済産業省及び環境省をはじめ大臣会合の開催にご尽力されました政府関係者の皆様に深く敬意を表しますとともに、開催地の札幌市をはじめ実行委員会の皆様、警備や医療、消防など様々な面からご支援とご協力をいただきました皆様、そして温かいおもてなしの心でご協力いただいた道民の皆様に、心から感謝を申し上げます。